

中央大学父母連絡会

Kusa no Midori

巻頭特集

FOCUS! 商学部

草のみどり

3

2021 March
Vol.324

2021年3月号



Chuo University Parents Liaison Association



Be Ahead of the World

世界を動かす
人になろう

vol.06

はじめに

こんにちは。私は、この学部の1期生として国際経営学部国際経営学科に在籍し、勉強に励んでおります。この学部の最大の特徴は、英語を主として授業やコミュニケーションが行われていることです。私は、他学部にはあまりないこの機会を存分に活用し、毎日英語に囲まれた学生生活を送っています。さらに、この学部では英語の能力を鍛えるためのプログラムや、先生方に質問できる機会がたくさん用意されています。たとえば「アカデミックサポートセンター（ASC）」では、時間割ごとに担当する先生が配置され、自由に質問や会話を行うことができる空間が用意されています。授業で扱っている英語がわからず助けが必要ときや、英語で雑談がしたいときなどにも



今留学で一番利用した学習場所と休憩場所を兼ね備える場所



ヨセミテ国立公園の大自然の中で

カリフォルニアへの留学で
得たこと

利用することが出来ます。英語を使う機会を増やすための環境がこの学部にはたくさんあるのです。

その一つに、この学部の特徴である留学があります。通常では1年次の夏に、大学が指定した留学先から選び、3〜4週間の短期留学をします。

私は、カルフォルニア州にあるカリフォルニア大学デイビス校のESTP

ログラムに参加しました。現地での学習は、ディスカッションを主とした相互的な授業でした。そのなかで、現地の学生にインタビュをする必要のある課題が出ました。そのタスクをこなすことによって、英語で他人に話しかける勇気が養われ、心の強さを鍛えることができました。見知らぬ外国人にいきなり話しかけてコミュニケーションすることは、日本にいてもアメリカにいてもなかなか経験できない貴重なことなので、とても記憶に残っています。そして、そのプログラムのなかで、任意かつ費用自己負担で参加できる、2泊3日でのヨセミテ国立公園散策がありました。巨大な滝や広大な森林など、アメリカならではの大自然を目の当たりにし、その自然のなかで味わっ

英語を用いて
培った学びと
新しい経験すぎやま たくみ
杉山 拓海国際経営学部国際経営学科2年
私立関東学院六浦高校（神奈川県）出身

たきれいな空気を今も思い出します。私はこのプログラムに参加して本当によかったと思っています。留学では勉強だけでなく、このような自然豊かな場所を訪れることができる機会もあるのです。今回の留学では、普段の生活では決して気づくことができない体験をすることができました。

国際経営学部ならではの学び

1期生は先輩がおらず、授業も必修以外は手探りの状態で選ぶことになりました。しかし、みんなしっかり授業を吟味して選択し、勉強に励んでいます。

この学部の最大の特徴であり、他学部と区別される点として挙げられるのは、英語の運用能力を上達させることと同時に、専門科目を英語で習い、英語で発信することです。



グローバル館の入り口にある中央大学の紋章前での写真

学部が指定した必修科目、たとえば経営や経済、統計に関する科目はすべて英語で行われ、試験も英語で完結します。1期生なので先輩から教わることはできません。母語ではない言語で専門的なことを学習するので勉強量はかなり多くなります。しかし、英語で学ぶことによって英語特有の、または先駆的なニュアンスや意味などを直接受け取ることができるようになり、海外の最新の情報や考え方を理解したりするときに、スムーズに自分のなかで整理することができると、経営や経済に関する知識がより深くなると考えています。

このほか、授業のなかで「R」や「Python」などのプログラミング言語を習う機会があります。1年次の経済学の授業ではRを、2年次前期の数量分析の授業ではPythonの基本的な機

From the Faculty of Global Management



国際経営学部
だより



国際経営学部における データサイエンス教育

国際経営学部教授
なかの じゅんじ
中野 純司

現代社会において、データサイエンスおよびAIの知識は非常に重要です。国による「AI戦略2019」においても、2025年を目標年として「文理を問わず、全ての大学・高専生（約50万人卒/年）が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」するなどとなっています。中央大学では、全学組織である「AI・データサイエンスセンター」が2020年4月に設立され、全学部生を対象としたAI・データサイエンスの教育プログラムが、2021年4月より開始されることになっています。

国際経営学部では、設立当初よりデータサイエンスの重要性を認識しており、その基礎とな

る「経営統計入門」を必修科目にしています。経営を含む人間活動において、データ利用の重要性およびその不確定性に対する理解は必須であり、国際的にはデータに基づいた議論ができないと話になりません。さらに、ビッグデータが獲得・利用できる現在では、コンピュータによるデータ分析およびAI技術に対する理解がないと、先端的な活動は望めません。本学部では「経営統計入門」のほかに「データサイエンス」「データ分析」などの講義で、より進んだ知識を学習する場を設けています。そして、これらの講義ではフリーのデータ解析ソフトウェア「R」を使い、実践的な知識を学べるようにしています。

本学部の学生には、数学に対する苦手意識、あるいは拒否感を示す人が少なくありません。そのため、データサイエンス関連講義においては、数式やプログラムの意味するところを直感的に理解してもらうことを心がけています。これらの知識は英語と同じく、世界を動かす活動のための道具であり言語である、ということを本学部卒業生には理解してもらいたいと考えています。

能などを学ぶことができます。また、基本的な数学を学修する必修授業があり、そこで数式的扱いに慣れるためにたくさんの問題を解きながら、経営に関する数学的分析手法まで身につけます。また、さらに数学の勉強を深めたい人のために、大学数学に取り組む授業もあります。これらもすべて英語で習います。プログラミング言語に触れる機会を大学で手に入れたことによつて、プログラミング言語を習うことの

やふじ

障壁がなくなり、かつ、自分でプログラミング言語の学習を始めるきっかけになりました。これらは、大学で得た学びのなかで最も自分の学習に影響したことだと思っています。

本稿だけでは大学を通して自分が取り組んでいることすべてを記すことはできませんが、自分に強く影響した事柄を挙げさせていただきます。私は、

これからもたくさんの学問に触れていくと思います。それらを理解するだけでなく、自分の学習に落とし込む作業を引き続き実行していこうと考えています。

最後になりましたが、このようなすばらしい体験や機会、学習の場を与えてくれる両親をはじめ、国際経営学部の先生方や職員の方々、またその関係者の方々に衷心より感謝申し上げます。